

## 第4節 日本のまんなかである優位性を活かし、国土の東西・南北軸の強化や交流拠点整備による国内外交流の推進

### 1. 目指すべき方向の視点

#### (1)国土の東西・南北軸強化の必要性

中部地方は日本のまんなかに位置し、関東地方・近畿地方の中間点として古くから人・もの・情報・文化の交流拠点として栄えてきました。今日の我が国経済を支える国土の大動脈が中部地方を東西に貫くとともに、南北方向の交流軸が結節するなど、まさに国土の要衝を担っています。東西軸は我が国の社会経済を支える大動脈であり、維持・活用していくことが重要であります。ひとたび大規模な災害が起きたときの代替性の確保が課題として浮かび上がってきています。また、南北軸は東西軸に比べて強化・充実が遅れたため、太平洋側と日本海側の経済圏の結びつきが弱いことが課題となっています。

こうした状況を踏まえると、東西軸・南北軸の機能強化を図るとともに代替性を高め、歴史を彩った街道地域としての資源を大切に直視していくことが、国土の要衝である「まんなか」地域としての重要な使命といえます。

#### (2)国内外交流推進の必要性

日本のまんなかに位置する中部地方は、国内外の交流の場として大きな役割を担うことが期待されています。国内にあっては、東西の交流に加えて南北の交流、即ち、沿岸部と山間部、更には太平洋側地域と日本海側地域の交流を促すことで、中部地方の特性を最大限に発揮していくことが求められています。また、海外との交流に向けては、中部国際空港をはじめとする高速交通ネットワークを活用することで、アジア・太平洋地域との様々な交流を果たしていくことや、中国・韓国などとの連携による環日本海経済圏としての交流を拡大していくことが重要な課題といえます。特に、中部国際空港の開港と「愛・地球博」の開催は、中部地方が国際交流の表舞台に立つ重要な節目であり、スムーズな移動や心の通うおもてなしなど、国内外の人々に満足感や達成感を与えられる観光交流空間を形成するとともに中部地方らしいサービスを展開して行かねばなりません。

まさに、「まんなか」地域の特性を活かし、国内外交流の舞台として大きく活躍することが、中部地方に求められる役割です。

### 2. わたしたちの目指す地域像

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 我が国の人流・物流を確実に支える要となる地域</li><li>・ 街道文化があふれ、国際交流観光の舞台となる地域</li></ul> |
|--|

#### 【地域の声】

- ・ 観光客を受け入れて地域を活性化させていくためには、地域住民自身が地域づくりのために積極的に活動していくことだ。(ビジョン討論会高山会場)

### 3. 地域像を実現するための具体的な目標

#### 目標1 日本の東西大動脈の信頼性を向上します

##### (目標)

東名・名神高速道路、国道1号、JR東海道新幹線や東海道本線などの機能維持を図り、我が国経済の大動脈としての安全性や円滑性を高めます。  
交通量の増大への対応と東海地震をはじめとする災害を想定した代替路を確保し、その信頼性を高めます。

##### [地域の声]

- ・ 災害等で中部の交通がマヒしてしまうほど狭い範囲に集中していることが問題。日本で一番交通の多い拠点は重点的に整備を。(ビジョン討論会豊橋会場)

##### [具体的な施策および主要事業例]

- ・ 重要交通網を保全する土砂災害対策を推進します。(西倉沢地すべり対策事業 等)
- ・ 国の基幹となる重要交通網を高潮・津波から守り、国土の安全性を高めます。(富士海岸 等)
- ・ 東西交通の円滑なモビリティとリダンダンシー<sup>1</sup>を確保します。(第二東名・名神高速道路 等)

#### 目標2 南北軸のスムーズな交通環境を整備し、信頼性・快適性を確保します

##### (目標)

高速道路網などの整備により、これまで東西方向の交流に比べ少なかった南北方向の交流を増やします。

##### [地域の声]

- ・ 道路でいうなら東西軸に対して南北軸が弱い。(まんなか懇談会)

##### [具体的な施策および主要事業例]

- ・ 太平洋沿岸部と内陸部及び環日本海と中部を結ぶ南北軸を整備します。(東海北陸自動車道 等)
- ・ 紀伊半島と名古屋都市圏を結ぶ南北軸の整備により、交通基盤の強化・リダンダンシーの確保を図ります。(近畿自動車道紀勢線 等)

#### 目標3 東西・南北軸と国内外交流拠点を活用した、東京・大阪圏や環日本海等の国内外と中部の経済・社会活動の交流拡大を図ります

##### (目標)

東西・南北軸の交通環境の整備及び東西・南北軸上の空港等の整備により、東京・大阪圏や環日本海等の国内外と中部の経済・社会活動の交流拡大を図ります。

##### [地域の声]

- ・ 観光連携軸により新たな産業を創出することが、地域の新しい芽を磨き上げていくことにもつながる。地域の優良な自然環境を活かした地域活力の向上も重要。(まんなか懇談会)
- ・ 東海と北陸を視野に入れたうえで、中部としての基盤整備を。(ビジョン討論会四日市)

<sup>1</sup> リダンダンシー：[redundancy]代替性。災害発生時に、一部の破壊が全体の機能不全につながらないように、あらかじめ交通ネットワークやライフライン施設を多重化したりすること。

会場)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 中部地方の国際物流・国際交流の拠点として中部国際空港の整備を推進します。
- ・ 静岡・浜松を中心とした地方中核都市圏の広域交流を促進するために静岡空港の整備を推進します。
- ・ 名古屋空港を、中部国際空港と連携し補完する小型機用空港として整備し、広域防災拠点としての機能も備えた新しい都市型飛行場を目指します。
- ・ 地方都市間の交流連携を図る地域高規格道路を整備します。

目標4 旧東海道・旧中山道等のまちなみ整備により、街道沿いのまちなみを再生します

(目標)

東海道や中山道等の旧街道沿いのまちなみ整備を図り、街道文化の国内外への情報発信を行い交流の拡大を図ります。

【地域の声】

- ・ 地方独自の産物、特産品、文化などは人々の暮らしに密着したところから生まれたもので、重要な資源。こうした歴史的資源から未来を築くヒントをつかむべき。(ビジョン討論会静岡会場)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 旧東海道のまちなみを活かした河川整備を地域住民と一体になって推進します。(七里の渡し周辺整備 等)
- ・ 東海道、中山道等の旧街道に残る歴史、文化資源の有効活用を図ります。(道の駅 等)

目標5 「愛・地球博」来場者のスムーズな移動を実現します

(目標)

中部国際空港や周辺地域から「愛・地球博」会場までの円滑な移動を確保します。来場者の集中から会場近隣の住環境を保全します。

【地域の声】

- ・ 「愛・地球博」のアクセス整備や活発な情報発信を。(まんなか懇談会)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 「愛・地球博」の会場への快適で円滑な来場を図るための関連事業を推進します。(愛知環状鉄道、東部丘陵線(リニモ)、名古屋瀬戸道路 等)
- ・ 結節点においてITSなどを活用した情報提供の充実を図り、「愛・地球博」来場者の移動を支援します。

目標6 中部国際空港の開港と「愛・地球博」を契機とした観光客の定着および国内外交流の拡大を図ります

(目標)

「愛・地球博」開催期間中に、中部地方が有する地域資源を様々な情報メディアを通して国内外に発信します。観光関係者や交通事業者、自治体や住民など様々な関係者が一体となって来訪者に多様なサービスを提供します。

【地域の声】

- ・ 「愛・地球博」の遺産を活かし、中部地方を近代的総合交通システムのモデル地域、国際交流中枢圏に。(まんなか懇談会)
- ・ 中部国際空港、「愛・地球博」を通じ、将来の中部地方の観光を中心とした活性化策を。(ビジョン討論会伊勢会場)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 「愛・地球博」の来場者に美しい中部を見て頂くために、「まちなみ」を向上させる取組を推進します。(ウェルカムマップの作成 等)
- ・ 中部地方に点在する観光地、歴史・文化施設のPRに努めます。
- ・ 中部地方で先進的に実施している交通システムを活用した、近代的総合交通システムのモデル地域を目指します。(ITS 等)
- ・ 中部国際空港の開港と「愛・地球博」を契機とした外国人旅行客の増加を図るために、官民一体となった「“フライ・ナゴヤ”キャンペーン」などの強化を図ります。

【当面取り組む主要なプロジェクト】

東海道・南北大交流プロジェクト

(目標 1、2、3、4 の達成を目指して)

JR 東海道新幹線や東名・名神高速道路などの東西軸や、東海北陸道、中央道、伊勢道などの南北軸や名古屋空港など既存ストックの活用、洪水・高潮・津波・土砂災害からの保全、静岡空港、第2東名・名神、近畿自動車道紀勢線、中部横断自動車道など新たな交通インフラの整備により我が国の社会経済を支えるとともに、日本のまんなかである優位性を活かした、「開かれた中部」として、関東・関西圏、環日本海地域との交通円滑化による交流強化を図ります。

<アウトカム指標(参考例)>

- ・ 街道沿いへの観光客入込客数の増加
  - ・ 関東、関西、北陸との交流人口、物資量の増加
  - ・ 自動車専用道路交通分担率<sup>1</sup>の向上 等
- 「愛・地球博」まち・ウエルカムプロジェクト

(目標 5、6 の達成を目指して)

2005年の「愛・地球博」開催、中部国際空港開港を契機として、魅力ある中部地方の情報発信と国内外交流を拡大させるために、博覧会への快適で円滑な来場を図る関連事業を推進するとともに、長久手町、瀬戸市、豊田市などの地元市町村が一体となって「まちなみ」を向上させる取組などを推進します。

<アウトカム指標(参考例)>

- ・ 「愛・地球博」目標入場者数の達成
- ・ 観光客入込客数の増加
- ・ まちの好感度の向上 等

<sup>1</sup> 自動車専用道路交通分担率：全道路における走行台キロ（通行した自動車の走行距離の総和）のうち自動車専用道路における走行台キロが占める割合。